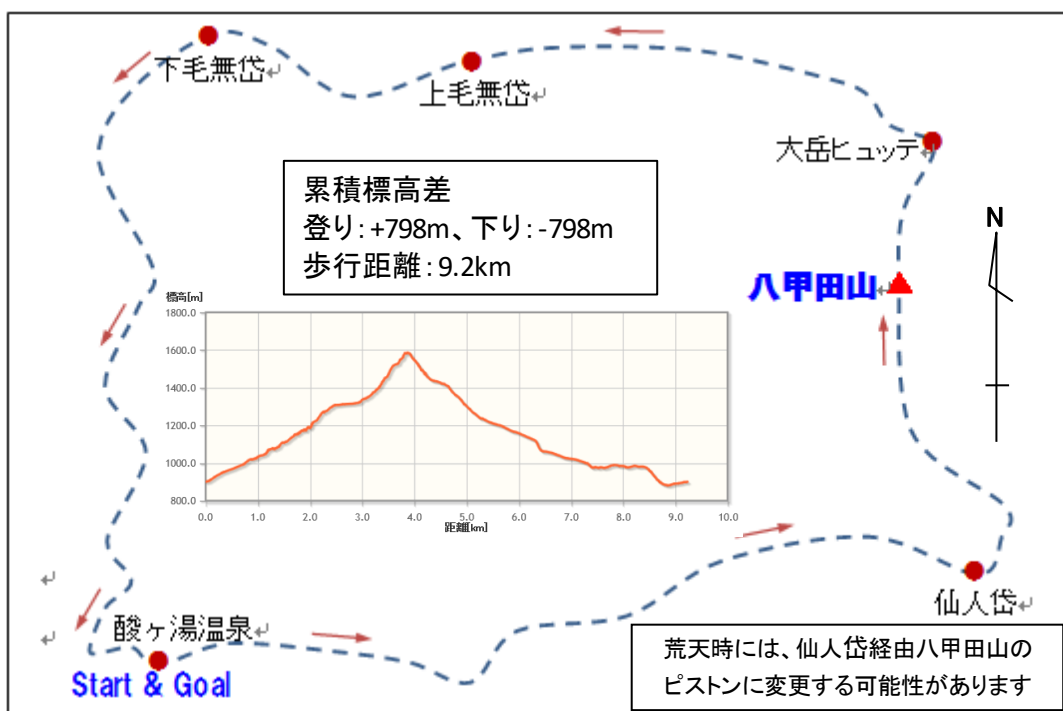
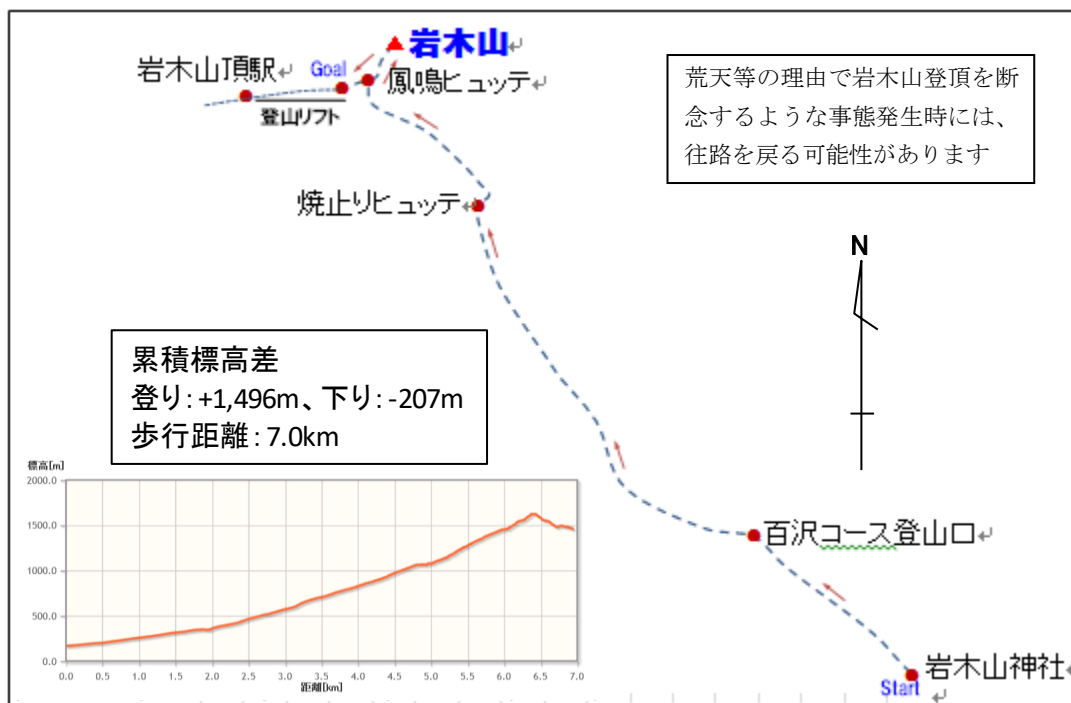


TTC提案山行計画書

[2018年4月22日 T.S 立案] (1/2)

1.山行計画名	岩木山[1,625m]・八甲田山[1,584.5m]				青森県
2.目的	本州最北端の百名山2座を紅葉最適期に訪ねる				
3.期日	2018年10月6日[土]～10月9日[火](往復路とも夜行バス+1泊2日) 高速夜行バス・タクシー・レンタ利用				
4.募集対象者	レベル:★★★		募集人数:4～8名程度		荒天時中止、小雨決行
5.パーティスタッフ	CL:	SL:	会計:	救護:	写真: ドライバ:
6.歩行/行動時間	日付	ガイドブック歩行時間	歩行時間	休憩時間	行動時間
	10/7[日]	5:00	5:25	1:10	6:35
	10/8[月]	4:35	5:05	1:15	6:20
7.累積標高差/ 歩行距離	日付	主な山	累積標高差(上り)	累積標高差(下り)	歩行距離
	10/7[日]	岩木山	+1,496m	-207m	7.0km
	10/8[月]	八甲田山	+798m	-798m	9.2km
8.集合場所・時間	8/11[土] 21:45 バスタ新宿集合				
9.解散場所・時間	8/14[火] 8:40 頃 バスタ新宿解散				
9.費用	<p>【内訳】</p> <p>深夜高速バス(4列ゆったりシート、新宿～弘前:@5,870、弘前～新宿:@4,640):5名=¥52,550、 レンタカ代:¥15,000、ガソリン代:125円/ℓ*120km÷12km/ℓ=¥1,250、 ドライバ謝礼:@5,000*2日=¥10,000、 リフト代=@600*5名=¥3,000、タクシー代(岩木山頂駅～岩木山神社):¥3,500、 酸ヶ湯(すかゆ)温泉旅館宿泊代:@8,500*5名=¥42,500、入湯料:@600*5名=¥3,000、通信費:¥1,000、 予備費:¥200 合計:¥132,000 ⇒ 一人当たり:¥26,400 (新宿駅までの交通費含まず)</p>				
10.行程	<p>[ルート・時間]</p> <p>10/6[土] 小田急 深夜バス 10/7[日] レンタ 35' 1:00 1:10 本厚木駅==新宿駅(バスタ新宿)==弘前駅==岩木山神社--百沢コース登山口--姥石--焼止りヒュッテ--</p> <p>[参考データ]</p> <p>日昇・日没時刻 10/7[日] 50' 40' 30' 40'(休5') リフト タクシー レンタ 弘前市岩木町 日の出 5:40 13:45-55 14:35-45 15:15-25 16:10-20 16:30-45 17:10-20 18:50 日の入 17:12</p> <p>10/8[月] 1:15(休5') 25' 55' 20' 40' 40' 酸ヶ湯温泉--地獄湯沢--仙人袋避難小屋分岐--大岳(八甲田山)--大岳ヒュッテ--上毛無岱-- 6:00起床-7:00 8:20-25 8:50-55 9:50-10:00 10:20-25 11:05-15</p> <p>50'(休5') レンタ 深夜バス 10/9[火] 小田急 --下毛無岱--酸ヶ湯温泉=====弘前駅=====バスタ新宿新宿==本厚木 11:55-12:25 13:20-14:50 16:00-21:25 8:35-9:04 9:57</p>				

11.コース概念図



12:1/25000 地形図	岩木山、雲谷、田代平、八甲田山、酸ヶ湯
13:問合せ先	弘前市役所観光政策課:0172-35-1128、弘前観光コンベンション協会:0172-35-3131、タクシー(北星交通株式会社):017-233-3333、酸ヶ湯温泉旅館:017-738-6400
14:共同装備	医薬品一式、ツェルト、カメラ
15:個人装備	ザック、ストック、ヘッドランプ(+予備電池)、水筒(テルモス)、タオル、ロールペーパー、ポリ袋、山岳保険証、健康保険証、財布(現金)、時計、携帯電話、計画書、地図、コンパス、筆記具、エマージェンシーシート、ホイッスル、個人常備薬、コップ、敷物、日焼け止め、虫除けスプレー、防虫ネット、温泉セット、サングラス、カメラ、防寒着、着替え、帽子、手袋、レインウェア、ザックカバー、スパッツ、傘、昼食(弁当)、行動食、非常食、飲料水
16:募集締切日	6/16[土] 6月例会
17:説明会	5/19[土] 5月例会 電子版配布(5/4)
18:特記事項	<ul style="list-style-type: none"> ●台風やゲリラ豪雨のような荒天時には中止しますが、通常の天候であれば基本的に実施します。 ●八甲田山の酸ヶ湯(すかゆ)温泉旅館には、総ヒバ造りの体育館のような巨大な建物に、隣同士であるが源泉が異なる大きな浴槽2つ(熱の湯、四分六分の湯)+打たせ湯(湯滝)がある『千人風呂』が名物で、これも楽しみです。